

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	1 章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち（都市環境の保全・創出）		
	施策（大柱）	2 節 公園・緑地	H20 実施計画事業費合計	503,237 千円
	中柱	1 総合的な緑地施策の推進	0 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 公園の整備	386,246 千円	
		3 緑地の保全・再生・活用	115,072 千円	
4 緑の創出		1,919 千円		
施策に関係する所属	都市計画課、中心市街地整備課、みどり公園課			

1)基本方針及び施策の目的

○市民の参加と協働による地域の特性を活かした公園づくりを進める。
 ○貴重な自然環境を有する緑地を、所有者の理解を得ながらさまざまな手法により保全に取り組む。
 ○市民、地権者、行政による保全管理手法の検討を行い、雑木林の保全・再生・活用につとめる。

2)施策の具体的な内容及び実施方法

○総合的な緑地施策の推進 緑地の保全と緑化の推進を総合的に進める。 ○公園の整備 地域住民の意見を聴きながら、より一層親しまれる公園を築造し、市民参加による公園の維持管理を進める。 ○緑地の保全・再生・活用 貴重な自然環境を有する緑地をさまざまな制度により保全し、また、市民参加による荒廃した雑木林の再生・活用に取組むとともに生育する野生動植物の環境等の確保も図る。 ○緑の創出 街づくりにおける緑地（緑化地）の創出や、市民、事業者との協働による緑化の推進に努める。

3)分野別計画、指針

○所沢市緑の基本計画

② 施策の概要

4)関連・類似施策

○2-7河川・治水

5)施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	235 人	28.3 %	18 位	4 位
	831		43	5

6)施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
都市公園数	箇所	196	204	204
保護地区面積	ha	47.6	47.6	47.2
保護樹木数	本	297	292	293
巨樹・巨木数	本	30	30	30

③ 優先的に取り組む事業

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
070501 街区公園築造事業	街区公園の整備率	公園整備面積/40.3ha（目標街区公園総面積）	ha	40.3	25.35	62.9	40.3
070507 保全緑地用地購入事業	購入緑地面積	取得面積	ha	0.4	0.4	100.0	

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】市民一人当たりの都市公園・緑地面積	公園・緑地整備の取り組み状況を示す指標である。	㎡	年度	目標値	8.32	9.17	10.02	10.87	11.73	年度
			実績値	6.84	6.84	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	82.2%	74.6%				11.73	
			%	6.61						
【5年後の目標】市民一人当たりの公園面積	都市公園の取り組み状況を示す指標である。	㎡	年度	目標値	4.38	4.84	5.30	5.76	6.21	年度
			実績値	3.53	3.52	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	80.6%	72.7%				6.21	
			%	3.47						
④ 5年後の目標／成果指標			年度	目標値						年度
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
			達成率							
			%							
			年度	目標値						年度
			実績値			実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値	
			達成率							
			%							

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

- 過去2年間なかった緑地の保全取得を荒幡富士市民の森用地及び上山口堀口天満神社周辺緑地用地の2箇所で行った。
- 市民緑地契約をした民有緑地に園路等を整備し、「久米八幡越市民緑地」として市民に公開した。
- 第二上新井区画整理事業地内の仮称上新井10号公園について、地元自治会との意見調整を図りながら第二期工事を実施した。

⑥ 評価（課題及び目標）

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況			
緑地の公有地化の推進	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
カルチャーパーク築造事業の推進	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
緑の基本計画の見直し「第2期所沢市緑の基本計画」の策定	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず <input type="checkbox"/> 悪化傾向

2)平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
緑の保全に関する市長マニフェストの実現	緑地取得の優先順位付け	10月末
街区公園の築造・整備	仮称第二上新井10号公園の完成	9月末完成、10月供用開始

3)今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

- 計画的な公有地化。→計画的な保全を進める対象地域について、客観的な評価手法によって重要度、優先順位を決定する。
- 街区公園の築造・整備・適正管理の推進。→将来の用地確保について借地方式による整備検討、施設の維持管理を行う。
- 緑地保全の推進。→地域制緑地の指定拡大、制度のPRと現状調査により地権者へ周知と同意を進める。
- 市民協働による地域緑化。→新たな参加者（個人・団体）の掘り起こしをする。
- カルチャーパーク築造事業の推進。→公共事業評価制度の実施と21年度以降の用地買収計画等の策定をする。
- 緑の基本計画の見直し。→策定後10年が経過し、関係法令等の改正や環境問題等における市民ニーズの変化及び社会・経済情勢等の変化をふまえ、「第2期所沢市緑の基本計画」を策定する。

評価日 平成20年8月11日 記入者職氏名 道路公園部次長 新井 精一